



第20回

全国地芝居サミット in 長浜

秋の曳山子ども歌舞伎

11/06 [土] 長浜文化芸術会館

- 11:00 ●歌舞伎上演
曳山博物館子ども歌舞伎教室
「御所桜堀川夜討 弁慶上使」
- 13:00 ●オープニングセレモニー
寿式三番叟
- 13:15 ●開会式
- 13:40 ●基調講演
「受けつなごう、まちの文化
～ふるさと歌舞伎は日本の誇り」
NHKアナウンサー 葛西 聖司氏
- 15:30 ●シンポジウム
「先進地から学ぶ文化の継承
～成功事例を紐解く～」
- 17:00 ●歌舞伎上演
長濱ゆう歌舞伎
「恋女房染分手綱 重の井」
- 19:00 交流会(長浜ロイヤルホテル)
(長浜曳山祭 囃子保存会しゃぎり演奏)

11/07 [日] 長浜市曳山博物館

- 9:00 ●曳山博物館見学
- 10:00 ●歌舞伎上演
長浜曳山祭 伊部町組 翁山
「双蝶々曲輪日記
八幡の里引窓の場」
- 11:00 ●歌舞伎上演
長浜曳山祭 神戸町組 孔雀山
「仮名手本忠臣蔵七段目
一力茶屋の場」
- 12:00 ●サミット宣言、次回開催地紹介
- 13:30 ●歌舞伎上演
米原曳山祭 南町組 壽山
「本朝廿四孝 十種香より奥庭狐火まで」
- 14:30 ●終 演

平成22年

11月6日[土] 7日[日]
長浜文化芸術会館 長浜市曳山博物館



第20回

全国地芝居サミットin長浜

～秋の曳山子ども歌舞伎～



長浜の町を開いた秀吉公から、長男誕生を祝って振舞われた砂金を基に建造されたと伝えられる曳山。その上で演じられる「子ども歌舞伎」は「山の芸」と呼ばれ、長く市民に愛され続けて来ました。しかし、さらに伝統を長く継承していくためには、振付・太夫・三味線という技能者の確保が喫緊の課題です。私たちのまちは、平成の砂金とも言える「ふるさと創生資金1億円」の一部を使って「三役修業塾」を開講し、技能者を地元で育成する仕組みを模索してきました。

第20回の記念すべきサミットは、この「技能者の育成と伝統継承」をテーマに基調講演、シンポジウムを行なうとともに、上記三役塾生の発表の場ともなる、長浜および近隣米原の「曳山祭子ども歌舞伎」、曳山文化から生まれた町衆による「長濱ゆう歌舞伎」、全市内から子ども役者を公募する「曳山博物館子ども歌舞伎」を上演いたします。皆さんが愛してやまない土地土地の地芝居の継承と歌舞伎文化のますますの醸成を願って、大いに語り合おうではありませんか。



Theme 技能者の育成と伝統継承

■基調講演

「受けつなごう、まちの文化

～ふるさと歌舞伎は日本の誇り～

NHKアナウンサー 葛西 聖司氏



■Profile ～かさい せいじ～

1951年東京生まれ。中央大学法学部卒業。

1974年NHK入局。

「ひるのプレゼント」「歌謡リクエストショー」などのテレビ番組、「昼の散歩道」などのラジオ番組の司会のほか、大河ドラマ「独眼竜政宗」連続テレビ小説「濡つくし」などの語りを担当。現在、「芸能花舞台」「ラジオ深夜便」などに出演。

著書に『ことばの切っ先』(小学館) 『能楽史事件簿』(岩波書店・共著)などがある。

■シンポジウム

「先進地から学ぶ文化の継承 ～成功事例を紐解く～」

- ・コーディネーター 葛西 聖司氏
- ・チーフパネリスト 安田 文吉氏 (南山大学人文学部教授)
- ・パネリスト 山口 清文氏 (全国地芝居連絡協議会議長)
- ・パネリスト 北村 尚幸氏 (長野 大鹿歌舞伎)
- ・パネリスト 小栗 幸江氏 (岐阜 美濃歌舞伎)
- ・パネリスト 高井 勇氏 (静岡 横尾歌舞伎)
- ・パネリスト 漣 泰寿氏 (滋賀 長浜曳山祭)

■会場のご案内

■長浜文化芸術会館 (6日会場)

〒526-0066 滋賀県長浜市大島町37
TEL : 0749-63-7400
FAX : 0749-63-7401
<http://www.biwa.ne.jp/~bunspo/>

■長浜ロイヤルホテル (6日会場)

〒526-0066 滋賀県長浜市大島町38
TEL : 0749-64-2000
FAX : 0749-64-2005
<http://www.daiwaresort.co.jp/nagahama/>

■長浜市曳山博物館 (7日会場)

〒526-0066 滋賀県長浜市元浜町14-8
TEL : 0749-65-3300
FAX : 0749-65-3440
<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

お問合せ：第20回全国地芝居サミットin長浜 実行委員会事務局(長浜市曳山博物館内)